

# 文化協会だより

## 第 16 号

発行日/2019.3.1 編集/加美町文化協会



フラワーアレンジメントサークル



賀美石大正琴愛好会

近年の都市化や過疎化、少子高齢化が急速に進行する中で、身の周りでは様々な変化がおこっています。都市では、すぐ隣に多くの人が住みながら疎外感や孤立感が高まったり、一方、地方では地域住民の流出や機械化による共同作業の減少など、連帯意識が薄れる反面、都会の文化の影響を強く受けたりして、地域の個性が失われてきているように思います。

更に年金支給の先送りも、ゆとりと文化の先細りを助長させるのではないかと心配されます。

古来 文化は、人と人とを結び付け、相互に理解し、尊重し合う土壌を提供するも

ので、社会の大切な基盤であったはずですが。

郷土の豊かな自然や言葉、昔から親しまれている祭りや行事、歴史的な建物、地域に根ざした文化活動などは、それ自体が独自の価値を持つだけでなく、ほかへ誇れる自分の故郷への誇りや愛着を深め、住民共通のよりどころでした。

その大切な文化を継承するため、まず私たち一人ひとりが文化の担い手であることを認識し、身近な事柄として文化を大切に捉えることはもとより、さらに、社会的な影響力のある各界各層のリーダーには、それぞれの業態の中でそれぞれの文化を磨き、育てる活動が望まれるのではないのでしょうか。

## 会長挨拶



加美町文化協会

会長 遠藤 尚武

加美町文化協会の平成三十年度の事業も各地区の皆様のご支援、ご協力により滞りなく執行することができ感謝申し上げます。

七月十四日、十五日の両日、中新田パツハホールで開催された加美町さなぶり大会は実行委員会の新たな発想で盛況に幕を閉じることができました。それは出展及び出演される団体が相応のお金を負担するということでした。

秋には、各地区の秋まつりが開催され、十月二日には加美町文化協会の研修会が二十四名の参加で、東日本大震災の被災地の一つ名取市開

上地区を視察し、あらためて震災の大きさを実感し、一日も早い復興を祈ってまいりました。また、学校統合施設の有効活用モデルとして川崎町「イーレ」支倉を視察し勉強してまいりました。十一月二十八日二十九日には、第三十九回宮城県文化協会運営研修会が栗原市の「ハイルザーム栗駒」において「地域、世代を超えて一歩前進、文化の輪」をテーマに開催されました。二つの分科会に分かれて熱心に討論されましたが、どの地域も少子高齢化、人口の減少などの同様の悩みをかかえており、いかにして子ども達や若い人達に興味を持っていただけるかが課題と感じてまいりました。

これからも地域の皆様と一体となり文化振興に貢献する所存です。今後ともご支援、ご協力をお願いし挨拶いたします。

## 町長挨拶



加美町長 猪股 洋文

会員の皆様には、日頃より本町における文化芸術の振興に多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、文化・芸術をこよなく愛する人々と共に、様々な催しやお祭りへの参加・出展を通じて、地域に根差した活動にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

さて近年、価値観が多様化し、社会情勢がめまぐるしく変化する環境下にあつて、心の安らぎや癒しは、私たちの生活にとって欠かせないものとなつており、文化・芸術の果たす役割は一層大きくなつております。

本町は、豊かな山林と清らかな水資源に恵まれ、古より水田農業や優れた農村文化を育んできました。皆様におかれましては、先達が築いてこられた伝統文化を後世の人々に伝え残していただくとともに、新たな文化の創造に向けて取り組んでいただくことをご期待申し上げます。

現在町では移住定住事業を展開しており、首都圏を中心に年数回、移住定住セミナーを開催し、町の魅力やライフスタイルを発信しております。皆様の文化・芸術活動は、移住希望者にとりまして大きな魅力の一つですので、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆様には今後とも健康に留意され、さらなる飛躍を遂げられますようご祈念申し上げます。そして、本誌発刊にご尽力いただいた編集委員並びに関係者の皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、挨拶いたします。

## 第三十九回宮城県文化協会運営研修会

栗原市「ハイルザーム栗駒」で開催

第三十九回を迎えた宮城県文化協会の研修会が栗原市で開催され、加美町文化協会から遠藤会長、畠山幹事、伊藤副会長が出席し、文化協会の抱える現在の課題と将来目標について討議が行われた。

「文化芸術は、終わりもなく日々前進するのみであり、県内文化協会の現在抱えている問題が多い。」高齢化によつて、会の組織が難しくなりつつある、会長になりたくない、役員は受けとりたくない、役員を引き受けても批判ばかりされる、若い人たちは、未だ現役として仕事を抱えている、先輩に遠慮がある等々の課題があり組織の運営の難しさを抱えているのが現状であるという。これを克服し、自立し、活力のある組織にするための方策について活発な討議が行われた。

主題は「地域・世代を超えて一歩前進、文化の輪」とし、それぞれ地域の抱える会員の減少、高齢化、活動エネルギーの醸成方法などの話題が提供され、文化活動の難しさが浮き彫りにされた。解決策または今後の方針として

- ① ボランティア活動
  - ② 児童生徒への地域魅力の啓蒙
  - ③ 地域催事への積極参加
  - ④ 行政、商工会等の連携
  - ⑤ 活動拠点の確保
- など文化協会の積極性が求められ、将来に対する地域の具体的目標の設定の重要さが上げられた有意義な研修会であった。



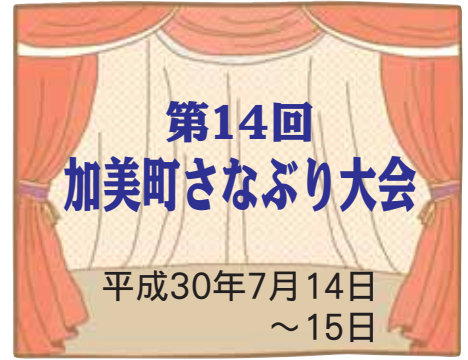


▲ガンダーラへの誘い



▲一筆入魂

▼楚尺



▲時代を超えた早乙女



▲明日への飛翔

## 第十四回 加美町さなぶり大会

加美町文化協会主催の「第十四回さなぶり大会」は平成三十年七月十四日～十五日パツハホールを会場に開催されました。展示の部はロビーにて両日、ステージ発表の部は十五日、多くのお客さまを集め盛大に行われました。

パツハホールロビーには写真・絵画・書道・短歌などに加え、釜神様については実演を加えての展示となりました。

研ぎ澄まされた技と美的感覚は、見る人の心を虜にしました。

ステージ発表の部では舞踊・コーラス・カラオケ・詩吟・琴演奏・ダンス・ハーモニカ合奏と多岐にわたり、出演団体は総勢二十八団体、観客を巻き込んだの熱演となりました。

古くから伝わる「さなぶり」の名を借りた文化協会の発表会ではありませんが、その名前を遡り、このような芸術文化に興じられる今日の満ち足りるを、自然に感謝し、神に感謝し、先祖に感謝する。

そんな「さなぶり」の精神を未来に繋いで絶やさないこと、それが私たち文化協会に課せられた使命であろうと思いました。

## 加美町文化協会視察研修記 名取市閑上震災

二〇一一年三月一日、東北にとって忘れることのできない「東北地方太平洋沖地震」、震度六強（名取市）、浸水高九m強、未曾有の大震災が発生し、太平洋沿岸の各地域は経験のない災害に見舞われた。その後の閑上地区の復興の現況を視察した。かつての町並みは勿論、文化遺産も史跡もすべて流失。人的被害も多大。あれから八年、ガイドの女性から復興は進んできたとの話であったが原っぱが目立ち、かつての町並みはもう無い。この地域に流した涙が消え去ることはあるのだろうか。一日も早い復興を願わずにはおれない。

## 川崎町支倉小の廃校活用

最近の児童生徒の減少に伴う学校の統廃合実施が急激に実施されてきている。宮崎旭小学校をかかえる加美町として、中心的施設を失う統合後の地域活用の先進地区として川崎町支倉小学校のその後を視察した。御伽噺のような校舎の活用に企業が参入し「はせくら王国」として農産物直売、菓子の開発、食の提供、体験教室等「食と体験の観光交流施設」に転用、地域貢献の企業努力と地域の有効活用施設として参考にされた。文化協会の役割をどう生かすか課題も多い。

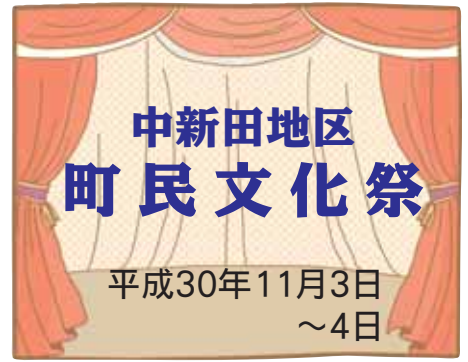




伝統の美



まず、ごあいさつ▼



▲たかまる気分



▲躍動感あふれる舞



▲それぞれの腕前だね



▲決まりました！拍手



▲歌もおはやしがあればこそ!!揃いました

模写？  
ほしいなあ…



▲縄文のひびき



盆栽とちぎり絵



▲息もピッタリ



▲“片足”おっと、むづかいところ～



▲震災で流された釜神が戻ってきた  
ニュースもありましたね



▲芸術作品今年も揃う



仲間はどうぞ

## 中新田地区町民文化祭

平成三十年十一月三日(土)・

四日(日)の二日間、公民館を会場に十七団体の展示がなされた。約百八十名程の中に茶道の席もあり、見事な発表でありました。四日はパツハホールに於いて二十一団体の発表があり、地域の芸術文化活動により、自ら学び、楽しみ、自由に工夫された成果に感動しました。それにしても世界で最も災害の多い国は日本であるとされている中、私たちの住む町は、自然災害の少ない地域に暮らしていることを折々に感じます。その幸せを大切にしながら、ゆとりの時間をみつけて文化活動の向上を目指したものです。三地区それぞれの輪が広がり活動が自由であることも嬉しく思っております。二日間好天に恵まれ、滞ることなく終えることができました。関係各位のご理解とご協力がありましたことに感謝申し上げます。

(鈴木ヨシ子)

お兄ちゃんのように  
なりたいな!! ▼



▲開会行事



▲美声の皆さん



▲幕開けは太鼓の響き



▲あれこれ説明・・・納得



▲図書館まつりのにぎわい



▲大丈夫ですか？準備に時間をかけて



▲細かいのよく作るね～



花の美しさに心うたれて(準備中)▼



▲チャリティバザー「どれどれ・・・」



▲フォークダンス。リズムによって・・・



▲う～ん。すばらしい

### おのだ地区町民文化祭

開会初日は町長、県議の挨拶を得、主催者の地区文化協会会長から「長い時間をかけて製作してきた作品、苦労重ねた舞台演芸は皆さんに、その心が伝わるでしょう」と挨拶。業鳴太鼓のオープニングショー、恒例の餅まき、作品展示。二日目はボランティア友の会のチャリティーバザーで賑わい、建郷青友会の餅つき、商工会協力の各種催し、文化協会演芸部門の皆さんによる舞台等、楽しい有意義な文化祭でありました。

小野田地区の皆さんの協力の沢山詰まった、和気あいあいの文化祭で地域のエネルギーの豊富さを物語るものと思えました。加えて氏家公民館長以下スタッフの積極的な応援、図書館長の計らい、サンホームの協力、正に総合芸術祭と言われる所以の秋まつりであり盛りある文化祭でした。

(伊藤真夫)

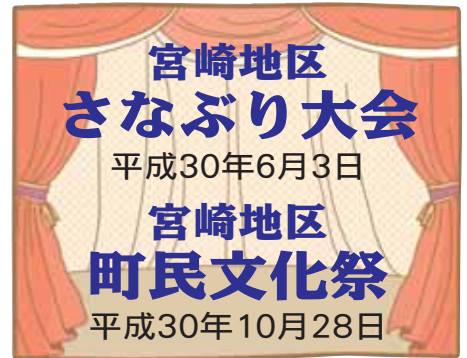


▲ワイキキの夜は熱く

▼のびやかに  
しなやかに



さなぶり  
大会



宮崎地区  
さなぶり大会

平成30年6月3日

宮崎地区  
町民文化祭

平成30年10月28日



▲みやびのシンクロ



▲情熱の訴え



▲名演技に陶醉



▲素材が同じでもちょっと違います

町民  
文化祭



▲加美町文化のかねめ



▲宮崎のアートを集めてみました



▲センスが光ります



▲根っこがあるってホッとします

宮崎地区文化協会の宮崎地区文化祭は平成三十年十月二十八日加美町秋まつりと同時開催で、陶芸の里スポーツ公園体育館アリーナを会場に開催されました。

盆栽、フラワーアレンジメント、加盟団体のほかからも婦人会の手芸、特養の書、幼小中学校生徒さんの絵画、陶芸などす野の広さを感じさせる内容となったことは大変うれしいことです。中でも四角の画用紙から飛び出す絵画や組立式の陶芸など破格の将来を予感させる作品もあり、人目を引きました。

(今野 茂)

### 宮崎地区町民文化祭

次いでカラオケ、琴演奏、舞踊、ダンス、コーラスと続き、今年も東松島市からの福居富大社中を招き、力強い三味線の音色に酔いしました。これからも開かれたさなぶり大会で内容の充実を図っていきたいと思います。(今野 茂)

宮崎地区文化協会主催の「第三十回さなぶり大会」は平成三十年六月三日宮崎福祉センター「ほんわかん」を会場に開催されました。オーブニングは特別出演宮崎小学校生徒さんのも獅子舞、賀美石小学校生徒さんのもよきこい、どちらも元氣いっぱい披露されました。

### 宮崎地区さなぶり大会

## 中新田地区文化協会加入団体一覧表

部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費	
音	日本民謡桃隆会中新田支部	鈴木 聖志	桃隆会の発表会、文化協会の発表会、福祉施設のボランティア活動	毎週月曜日	0229-63-6834	月1,200円	
	大蔵流謡曲高砂会	工藤 力夫	謡曲講習、その他	毎月11日 寒稽古1月6日～10日	0229-63-2246 蘇武 仁宅	年2,000円	
	中新田民謡香春会	遠藤 尚武	初心者大歓迎です	毎月第2,4火曜日	0229-63-2643	月1,500円	
	コール・エーデルワイス	西塚 和恵	県おかあさん合唱祭、県北合唱祭に出場	月3回 第1,2,3月曜日	0229-63-3032	月2,500円	
	コーラスこだま	皆川 恵子	県合唱祭、町の行事に参加、演奏会開催	毎週火曜日 19～21時	0229-63-3516	月3,000円	
	ミュージック'74	伊藤 利夫	定期演奏会と音楽振興、地域に根ざした活動	毎週金曜日 パッパホール	0229-63-5374	月1,000円	
	混声合唱団「響」	大崎 能正	年一回定期演奏会、県北合唱祭。各種記念行事参加、他	毎週水曜日 パッパホール 19時～21時	0229-63-2704	月3,000円	
	めだかの学校	後藤以和子	童謡と先生のお勧めの歌を中心に練習しています	毎月第2,4土曜日 10時～12時	0229-63-4107	年10,000円	
	琴古流尺八中新田支部	高橋ススム	伝統尺八の研鑽と普及活動	第3週を除く毎木曜日	0229-63-6611	月1,000円	
	琴城流大正琴愛好会	菅原 玲子	楽しく和やかに技術の向上を目指す	毎月第2,4火曜日	0229-63-3669	月2,000円	
	都山流尺八中新田支部	青砥 正蔵	伝統尺八の研鑽と普及活動	随 時	0229-63-4297	なし	
楽	詩吟岳風会加美	柳川 一夫	漢詩、俳句、和歌 お腹の底から吟じます	毎月第1,2,3金曜日	0229-63-4284	月800円	
	中新田カラオケ愛好会	畠山 尚	各施設への慰問活動、パッパホールでの発表会	毎月第1土曜日	0229-67-2235	男3,000円 女2,000円	
	ポレポレハーモニカサークル	佐々木庸江	ボランティア演奏・各イベントに参加	月2回第1・3木曜日	0229-63-3434	月2,000円	
	青空ひばりカラオケ教室	長田千代子	仲良く楽しく健康づくり、和を大切	月3回	0229-63-2243	随 時	
	多田川太鼓	尾形 俊治	各イベントや祭りに参加	毎月第1・3土曜日	0229-62-2134	年 5,000円 子供3,000円	
	広原民謡保存会	佐々木長七	チャリティ発表会	月2回	0229-63-2139	月1,000円	
	ナツメロ会青春	小丸 孝雄	定例ナツメロ会・イベントへの参加	毎月20日	0229-63-5101	年2,000円	
	中新田縄文太鼓伝承会	大崎 能正	全国各地出演	毎週水曜日	0229-63-2704	月1,000円	
	芸	四日市場甚句保存会	角田憲太郎	行事の前に練習する	随 時	0229-63-6028	1戸500円
		『華・from・K A M I』	今野 盛朗	イベント出演	毎週水曜日	0229-63-2532	年12,000円 子供6,000円
		富士美流寿々梢扇会	畠山こずゑ	さなぶり、秋まつり、東北・全国大会に出演	毎週土・日曜日	0229-63-2527	1回1,000円
中新田水木歌亮会		大場 健子	歌謡曲から古典まで稽古しています	毎週火曜日	0229-63-2577	年5,000円	
扇和会		鈴木 颯子	夏祭り(中新田おどり)、秋まつり、東北大会に参加	毎週月曜日 午前10時 毎週水曜日 午後8時	0229-63-3137	月3,000円	
翔彩綺羅楽		菅野ひとみ	各種よさこいイベント出演	週1回	0229-63-4967	月2,000円	
富士田村舞踊		田村 崇	県北地方でボランティア	毎週土曜日	0229-63-6670	年12,000円	
藤本流 征花会		佐々木かのえ	歌謡曲から古典まで稽古	月3回第1.2.4木曜日	0229-62-2120	月3,000円	
和光流 佳穂会		星 佳友子	福祉関係のボランティア活動・2年に1回発表会	各教室月2回	0229-63-6964	月3,000円	

中新田地区文化協会加入団体一覧表

部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
美術・工芸	加美映像倶楽部	猪股 勝治	定例会、映写会、撮影会による知識、技術の研鑽	奇数月、撮影会の翌月第3水 18:30	渋谷吉十郎 0229-67-6245	年5,000円
	加美書人会	伊藤 真夫	書道の普及に寄与する事を目的とする	随 時	0229-67-2428	年3,000円
	書道「溪山会」	大内 洋子	競書の練習、書道展・文化祭等への出展	毎月第1・4木曜日	0229-63-6880	月2,000円
	墨友会	鈴木 俊子	年1度、文化祭に出展しています	第2・4水曜日	0229-63-6337	年6,000円
	書の教室OB会	浅野 静代	書の向上と親睦を図る	毎月第1・3水曜日	0229-63-4923	1回500円
	書の教室「華の会」	只野 郁子	書の向上と親睦を図る	毎月第2・4火曜日	0229-63-4330	1回500円
	T E N彩会	石川 守一	写生会の開催	第4金曜日	0229-63-2711	月1,000円
	中新田ちぎり絵教室	佐藤いつ子	毎月1枚の絵の作成と秋祭りに参加	第1火曜日(1月除く)	0229-63-7088	年5,000円 月2,000円
	木彫りの会	本多 正治	主に釜神彫りと、釜神文化の伝承活動	毎月第2・4日曜日	0229-63-6142	年3,000円
	パッチワーク教室	中村貴美子	町民文化祭に出展します	第2・3・4土曜日	0229-63-2033	月1,000円
	水彩工房	中嶋 剛毅	水彩画の制作	随 時	0229-63-3020	実 費
	手織りの会	佐藤はるを	裂織りの布でバッグや小物を作る	毎週火曜日定例	0229-67-3310	年1,000円 材料費別
生活・文化	本多純龍社中	本多 京子	茶道、華道、フラワーアレンジメントの指導	毎月第2,4火曜日	0229-63-2188	茶道月3500円 華道月3000円
	フラワーサロン「ハーモニー」	伊藤ただ江	いけばな&フラワーデザイン教室	毎月第2金曜日、第3,4土曜日	0229-63-7155	1回1,000円
	フラワーデザイン&いけばな教室	千葉 文子	公民館の玄関内に展示と年1回の秋祭りに展示	習う方の都合に合わせて(日中)	0229-63-6009	1回花材2,000~3,000円
	龍生派佐々木彩芳社中	佐々木彩芳(よし子)	公民館に展示。研究会・支部展・秋祭りに参加	毎月第2,3,4木・金曜	0229-63-4058	随 時
	茶道裏千家翠会	古内 主子	茶道教室、裏千家茶道の習得	月曜日、土曜日	0229-63-2628	月5,000円
	3B体操会	加藤 爾見	音楽に合わせて楽しく体を動かす、やさしい運動です	金 19:00~21:00 土 13:30~15:30	090-8926-0353	月3,000円
	中新田囲碁将棋愛好会	青木 圭	愛好者での大会	随 時	0229-63-5519	随 時
	加美盆栽会	高橋 宗幸	春秋の展示会、先進地への研修旅行	随 時	0229-63-2204	年2,000円
	加美太極拳 三鈴	本間 裕子	健康づくり	毎週火・金曜日	0229-63-2980	月2,000円
	中新田気功太極拳	亘理 洋子	気功、太極拳の指導と練習	毎週月曜日 13:30~15:30	0229-63-2221	月2,000円
	加美鳴瀬太極拳	橘 真己	太極拳から武器まで多種目を広く学ぶ	鳴瀬毎週水曜日 19:00 小野田毎週火曜日	0229-63-6057	月3,000円
	健康ダンス愛好会	高橋 清子	呆け防止、常に若く美しく	毎月第1,2,4木曜日	0229-63-6925	年6,000円
	アロハ・フラ・モキハナ	小笠原悦子	町の行事に参加	毎月第2,4月曜日	0229-63-2677	月2,500円
	やさしいヨガ教室	桧野 裕子	心身の健康維持	毎週火曜19時 南児童館	0229-63-3729	1回500円
文芸	まほろば短歌会	鈴木ヨシ子	先に歌三首提出し決まった日時に歌会を持つ	毎月第1土曜日 13:00~15:00	0229-63-4523	月300円
	「秋」中新田句会	鈴木ヨシ子	自然と人間との絆を句にする	毎月第3水曜日 9:30~12:00	0229-63-4523	月1,500円



小野田地区文化協会加入団体一覧表

部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
音	小野田地区大蔵流謡曲保存会	大山重太郎	地区の秋まつり等にて発表	予定なく、その都度実施	0229-67-6134	随時
	互礼二カラオケ愛好会	小松 麗哉	さなぶり大会・秋まつり、大崎の大会	月4回 薬師の湯カラオケ	0229-67-2188	随時
	小野田葉鳴太鼓練心会	柴田 幸信	各種イベント等	毎週水、金曜日	0229-67-2046	年2,000円
	都山流尺八教室唱山会	西塚 敏也	町内各イベント、鹿島台幼稚園、文化祭等	毎週木曜日 19:00～20:30	0229-67-2444	月1,000円
	大正琴せせらぎ会	斉藤 豊子	月2回の稽古と年1回の発表会	月2回	0229-67-2355	月3,000円
	やくらいハーモニー	山城つねよ	イベント、ステージ発表ボランティア	第1,3月曜日（月2回）	0229-67-2175	月2,000円
	おのだ童謡を歌う会	澤田せつ子	県北合唱祭等年4～5回発表会	毎月第2・4火曜日	0229-67-2279	月1,500円
	みんなの会	佐藤 勝美	ボランティア、イベント、チャリティ等	毎週木曜日 18:00～21:00	090-6786-6233	1回500円
	小野田民謡福声会	高橋久美子	文化祭等に参加	随時	0229-67-3721	随時
芸	富士美流小野田支部	古内やえ子	日本舞踊の稽古	個人レッスン	0229-67-6556	随時
	国鳳会（日本国風流詩吟）	伊藤 真夫	詩吟の稽古	随時	0229-67-2428	随時
	小野田地区獅子舞保存会	松倉 裕樹	獅子舞の伝承保存	随時	0229-63-5400	随時
	三輪流神楽保存会	中嶋 剛	三輪流神楽の伝承	随時	0229-67-3685	3,000円
	中嶋田植踊り保存会	小山 信雄	保存伝承活動、各イベント等に出演	随時	0229-67-6061	年2,000円
	青野田植踊り保存会	青木 文子	田植踊りの伝承保存	随時	0229-67-2286	随時
	月崎田植踊り保存会	佐々木照義	田植踊りの伝承保存	随時	0229-67-6077	随時
	すみれ会	高嶋 信子	春祭り、秋祭り等に参加しています	月に2～3回位です	0229-67-3624	随時
	小野田甚句保存会	伊藤 照子	町のイベントやくらい春祭り等に参加	イベントの前に練習	0229-67-6503	随時経費等徴収
	せせらぎ3B	佐々木やす系	3種類の道具を使い健康体操をする	第2,4土曜日 10～12時	0229-67-6181	月1,500円
	こすもす会	大枝 春代	各種イベント及び施設訪問等	月に4回位	0229-67-2488	随時
	FDみずばしょう	佐々木あさみ	さなぶり大会・文化祭等に参加	毎月第1木曜日 13:30から	0229-67-3083	月600円
	マハ口おのだフラ	伊藤ヒロ子	発表会・ボランティア出演	月2回	0229-67-3494	1回1,000円
	安来節保存会東北支部加美部会	菅原 輝雄	秋まつり参加	随時	0229-67-3410	随時
	泉流踊りの会	小野 恒子	文化祭に参加	随時	0229-67-7472	随時
美術・工芸	小野田パレット会	小山 俊一	絵画製作と展示	随時	0229-67-3411	随時
	書の教室 澄香社	伊藤ひと子	書作品の制作・練習	毎月2回	0229-67-2428	月2,000円
	書心会神仙支部小野田地区	工藤 勝義	書作品の制作・練習	随時	0229-67-3543	随時
	りんどうの会	橋本あき子	作品の作成・展示	随時	0229-67-3459	随時
	かのはら趣味の広場	信夫ときわ	作品の作成・展示	随時	0229-67-2495	随時
	たんぼぼの会	大累 治子	作品の作成・展示	随時	0229-67-2707	随時
生活文化	小野田華道教室	佐藤真由美	秋祭り等出展	随時	0229-67-2324	実費
	龍生派いけばな教室	高橋 和子	年齢層広く楽しくいけばなをしています	毎週木、土 その他応相談	0229-67-2523	実費
	龍生派華道クラブ	伊藤 孝子	身の回りの花材を利用し実技の研修	特に決まっておりません	0229-67-3378	随時
	草月流華道教室	矢瀧 幹子	各種イベントへの参加	随時		随時
文芸	せせらぎ俳句会	松本 哲郎	自然風土と温かい人間との絆を俳句に	毎月第3火曜日句会	伊藤真夫宅 0229-67-2428	年8,000円
歴史民俗	小野田地区文化財友の会	伊藤 真夫	県内文化財めぐりと保護活動	文化財めぐり随時	同上	年1,000円
	薬菜登山愛好会	板垣 彦	史跡探訪及び登山	5月～12月の8の日 薬菜登山、探訪	0229-67-5114	年会費・保険料 1,800円

## 宮崎地区文化協会加入団体一覧表

部門	団体名	代表者名	活動内容	練習日	申込電話番号	会費
音	賀美石大正琴愛好会	板垣 静江	大正琴の音色、弾く楽しさをあじわう。	毎月2回	0229-67-6777	月2,000円
	コール白萩	板垣千代子	さなぶり大会やディサービス活動	第1,3金曜日	090-5180-0563	月1,000円
	民謡竹声会	高橋 哲雄	民謡、尺八教室	毎月第1,3月曜日	0229-63-5831	月1,000円
楽	旭カラオケ愛好会	猪股 貞治	歌謡・演歌	第1・2土曜日	0229-69-5766	月1,000円
	宮崎詩吟の会	後藤 莊悦	漢詩・和歌をかいっばい吟じます	随 時	0229-67-6755	実 費
芸	宮崎婦人会踊り教室	鈴木芙美子	日本舞踊水木流の踊りを練習	月3回 土曜日	0229-69-5286	月1,500円
	宮崎獅子舞保存会	今野 武敏	宮崎小学校にて演舞指導	随時開催	宮崎公民館 0229-69-5123	なし
	米泉獅子舞保存会	高橋 康雄	鎮守の森神社を中心に活動	毎夏	0229-63-5831	年1,000円
	鳥屋ヶ崎獅子舞保存会	伊藤 良博	獅子舞の神輿巡業と後継者の育成	八幡神社祭礼前に練習	0229-67-6810	年3,000円
	北川内神楽保存会	遠藤 政勝	神楽の普及伝承、地域世帯間の交流	毎月第1土曜日	0229-69-5440	なし
	旭せせらぎ踊りの会	畠山 明美	年1回の発表会に向けての練習	週1回程度	0229-69-5725	月3,000円
	下小路一秋田おばこ踊り保存会	鹿野美智子	各種イベントへの参加、ボランティア活動	月1回 随時	0229-69-5105	年1,000円
	ほがらか会	猪股えよ子	歌に合わせて舞う	毎週木曜日（公民館）	0229-69-6229	月2,000円
	宮崎水木歌亮教室	石垣 順子	日本舞踊水木流の踊りを練習	月3回 土曜日	0229-69-5478	月1,500円
	宮崎婦人会レクダンス教室	米沢 幸子	さなぶり大会で発表	4月～11月第4火曜日	0229-69-5488	年1,500円
	賀美石長寿会踊り教室	今野 幸子	ボケ防止のために活動しています	月1回	0229-67-6664	随 時
	ダイヤモンドガールズ	佐藤 昌子	フラダンスの愛好	随 時	0229-67-6729	年1,000円
	二葉会	尾形つぎ子	歌に合わせて踊る	月2回土曜日	0229-69-6286	月3,000円
	賀美石3B教室	山内さつ子	音楽に合わせて体のストレッチ	第1・3火曜日	賀美石地区公民館	月1,500円
美術・工芸	水彩画愛好会	鈴木 克友	水彩画の基本的な描き方を解り易く学べます	随 時	090-5836-3155	月3,000円
	溪彩会	後藤 莊悦	写生会の開催・会員募集中	随 時	0229-67-6755	実 費
	釜神の会	檜野 栄夫	釜神彫りと釜神文化の伝承	随 時	0229-69-5713	実 費
	ステージクラブSTEP	庄司 新寿	各種イベントのビデオ撮影	随 時	0229-69-5797	実 費
	なかよし写真クラブ	猪股しず子	写真技術の研鑽・文化祭等出品	随 時	0229-69-5617	実 費
生活・文化	宮崎婦人会折り紙教室	松本登美子	文化祭の展示、女性学級の折り紙指導	毎月第2・3火曜日 10時～	0229-69-5219	なし
	デコパージュ（シャドーボックス）	飯島 敬子	同じ絵を5枚切り抜いて、立体的に仕上げる	第1月曜日 13時～15時	0229-67-3865	実 費
	賀美石婦人会	三浦 満	手芸教室	随 時	賀美石地区公民館	随 時
	鉄魚愛好会	鎌田富士夫	春秋の展示会、品評会	随 時	0229-67-6379	年5,000円
	みやぎの山野草愛好会	斎藤 昭夫	山野草の栽培と研究	随 時	0229-69-5107	随 時
	宮崎盆栽会	池田 胞夫	栽培と研究	随 時	0229-69-5761	随 時
	フラワーアレンジメント	佐藤千鶴子	四季折々のアレンジ	随 時	0229-67-6758	月3,000円
文芸	こびとの森	鎌田久美子	生活に手芸を取り入れます	随 時	0229-25-5024	実 費
	白萩短歌会	工藤 勝義	短歌を詠み合って創作に励んでいます	月に1回	0229-67-3543	年1,000円
歴史	加美町史遊会	渡邊 哲	史跡めぐり・視察研修・現地研修	随 時	080-6028-6100	実 費
	古代都市賀美石を考える会	斎藤 昭夫	講師を招いての講演等を開催	随 時	0229-69-5107	随 時

平成三十年度  
藍綬褒章（社会福祉功績）

民生委員・児童福祉委員として  
社会福祉の向上に貢献

小野田地区 大枝 春代

平成二十九年  
加美町文化功労賞・  
文化賞受賞者

《文化功労賞》

一 互礼二カラオケ愛好会 小松 麗哉

二 小野田地区大蔵流謡曲保存会 大山 重太郎

三 コール白萩・おのだ童謡を歌う会 田崎 敏子

四 民謡竹声会 高橋 哲雄

五 詩吟岳風会加美 柳川 一夫

六 中新田カラオケ愛好会 畠山 尚

七 広原民謡保存会 佐々木 長七

《文化賞》

○第六十四回河北書道展

第七部『特選』

加美書人会 工藤 一子

## 加美町文化協会加入団体紹介

### めだかの学校

最初は「童謡を歌いましょう」で始まった会ですが、阿部敏一先生のお薦めの名曲や先生の作詞作曲の歌も、大きな声で、佐々木純子先生のピアノに合わせ歌っています。毎月第2・4土曜日、10時から12時、図書館ホールで素晴らしい時間を会員25名が共有します。いっぱい元気をもらい、軽やかに家路につきます。歌はやっぱり心の友ですね。



### 加美盆栽会

美しい樹形や花、実を一年中楽しめる盆栽をあなたも始めてみませんか？

春の芽吹きから初夏の若葉、そして深緑へ、秋の燃える紅葉、真冬の葉を落とした力強い幹、盆栽はそんな四季折々の風情を身近に感じさせてくれます。

現在会員は9名、4月から月1回の勉強会を、春と秋に公民館ホールにて展示会を開催いたしております。



### 小野田地区大蔵流謡曲保存会

秋まつりには毎回参加し朗々たる謡の妙味を披露しているつもりですが、会員が減り後継者の育成が課題となっています。会員による正月の謡曲会や懇親会など楽しく会をすすめながら、師匠の教えに従い日々努力しています。長生、四海波、高砂など謡ってみませんか。



### 小野田地区文化財友の会

平成15年夏発足、町内、県内の文化財はじめ古墳等古代の史跡名所めぐり、時には被災地の町づくり等分野を選ばず勉強しています。会員の研究発表会、外部の講師による講演会、年末には活動の反省会をひらくなど、肩のこらない会であり加入してみたい。



### 加美町史遊会

活動は、会員による研究発表。歴史ガイド養成のための町内の史跡を活用した現地研修、県内の史跡の視察研修や博物館での展示物見学等の移動研修を行っています。他団体主催の講演会等にも積極的に参加しています。会員数は25名で、年齢層は28歳から84歳までと幅広いです。

地域の歴史を学び、掘り起こしをしながら地域の活性化の一助につながる方策を共に考え、生涯学習の友としてみませんか。



### 古代都市賀美石を考える会

会員数は41名で、活動は、東北歴史博物館や古代史を学ぶ移動研修。東山官衙の現地見学会、出土物の展示の説明会、意見交換会や講演会等を開催しています。天平9(737)年按察使兼鎮守府將軍大野東人により開削された玉野新道を、5,944人の大軍で出羽征討が行われた歴史があり、東山官衙遺跡は、当時の律令制度を知る上での重要な遺跡なのです。一緒に学んでみませんか。



## 平成31年度行事予定

平成31年  
 4月20日 加美町文化協会総会  
 6月2日 宮崎地区さなぶり大会  
 6月15・16日 第15回加美町さなぶり大会  
 10月 加美町文化協会研修会  
 10月 第23回みやぎ県民文化祭  
 10月26・27日 小野田地区文化祭・加美町秋まつり同時開催  
 10月26・27日 中新田地区文化祭  
 11月9・10日 宮崎地区文化祭  
 平成32年  
 3月1日 文化協会だより第17号発行

## 加美町文化協会役員名簿

役職名	氏名	地区	部会
会長	遠藤 尚武	中新田	統括
副会長	伊藤 真夫	小野田	総務部
幹事	猪股 勝治	中新田	総務部
々	畠山 こそゑ	中新田	事業部
々	小山 信雄	小野田	総務部
々	高嶋 信子	小野田	事業部
々	伊藤 良博	宮崎	広報部
々	畠山 明美	宮崎	事業部
事務局	古内 やへ子	加美・中新田	総務部
々	信夫 ときわ	小野田	総務部
々	今野 茂	宮崎	総務部
監事	3名		
理事	18名		

### ◆編集委員

伊藤 真夫  
 高橋 和子  
 渡邊 哲  
 今野 茂  
 鈴木ヨシ子  
 大枝 春代  
 飯島 敬子  
 伊藤 良博  
 京子

今年度の「文化協会だより」十六号は、平成最後の広報紙となりました。一号から八号までは白黒の写真でしたが、現在のカラー写真になったのは九号からです。各部門のステージ発表や展示、展覧会等の活動状況がより鮮明になりました。昔から引き継がれてきた伝統芸能から、平成を表現する新しい部門も増え、今では発表する時間や展示する場所の割り振りが大変なほどに成長しました。次号は、新しい年号と共に若い人達の新文化活動が入ってくることに期待したいと思えます。この広報が皆さんの手に渡り、町民の皆さんが参加したいと思う気持ちを持って下されば私達編集委員の望外の喜びであります。

### 編集後記

## 活動奨励金を交付される

加美町教育委員会の推薦により「公益財団法人日本教育公務員弘済会宮城支部」から、加美町文化協会の活動実績を認めていただき、活動奨励金として20万円を交付されました。



さなぶり大会や地区の文化祭費用等に活用させていただきました。

## 第22回 みやぎ県民文化祭 登米祝祭劇場に於いて開催

「白鳥舞う水の里登米 繋ぐ みやぎの芸術文化」をテーマに平成30年10月27日(土)～28日(日)の2日間登米市に於いて開催されました。加美町配分の作品展示は下記の会員に出展頂きました。

絵画部門 石川 守一 鈴木とも子 後藤 荘悦  
 書道部門 大内 洋子

### 加美町の村時代の名称

現在の加美町は、どのような村々が合併を繰り返し、地域文化が継承されてきたかを考える資料として旧村名を掲載してみました。

中新田町一中新田村、広原村（羽場村、城生村、菜切谷村、上狼塚村、上多田川村、下多田川村）、鳴瀬村（四日市場村、下新村、雑式目村、平柳村、下狼塚村）

小野田町一西小野田村、東小野田村、月崎村

宮崎町一宮崎村（宮崎村、北川内村、柳沢村）、賀美石村（米泉村、孫沢村、鳥屋ヶ崎村、鳥島村、谷地森村、木船村、小泉村、君ヶ袋村、沼ヶ袋村）

## 文化協会入会の募集

加美町文化協会には、現在128団体が加入しており、会員相互の連携や協調を図りながら、加美町の芸術文化の向上及び伝統芸能の継承を目的とした活動を展開しています。維持発展には、熱意ある積極的な方々が必要です。入会を心よりお待ちしております。

### 入会方法

\*文化協会加入の年会費は団体会員・個人会員共に2,000円です。

\*入会申し込みが必要です。各地区の会長等に連絡して下さい。

中新田地区会長 遠藤 尚武 ☎63-2643  
 小野田地区会長 伊藤 真夫 ☎67-2428  
 宮崎地区事務局 今野 茂 ☎69-5414